



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社テノックス 上場取引所 東
コード番号 1905 URL <https://www.tenox.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 直
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 谷山 敦之 TEL 03-3455-7758
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,957	27.3	△28	—	△3	—	△6	—
2024年3月期第1四半期	4,678	10.2	272	171.4	285	140.1	223	125.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 17百万円 (△93.0%) 2024年3月期第1四半期 252百万円 (215.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△0.93	—
2024年3月期第1四半期	34.19	33.47

(注) 2025年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	19,459	12,579	62.8
2024年3月期	19,066	12,689	64.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 12,212百万円 2024年3月期 12,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	21.00	—	22.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	23.7	890	70.8	930	66.7	650	67.5	99.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	7,347,680株	2024年3月期	7,347,680株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	783,561株	2024年3月期	792,750株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	6,560,777株	2024年3月期1Q	6,530,117株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
3. 補足情報	9
受注高・売上高・受注残高内訳表	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、不安定な国際情勢や円安の長期化、公共料金の値上げに起因する物価上昇が個人消費の減速を招いており、金融資本市場の動向も含めて、国内外の経済動向の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共投資、民間投資共に緩やかながら増加することが見込まれ、建設需要全体としては底堅く推移しつつあります。しかしながら、高止まりする建設資材価格や現場従事者の慢性的な不足に加え、時間外労働の上限規制への対応など多くの課題を抱えております。

このような状況のもと、当社グループは2024年度を新中期経営計画の初年度と位置づけ、5つの重要戦略（事業別戦略、開発戦略、環境・デジタル戦略、経営基盤の強化、資本効率経営の推進）を通じて、変化する社会課題に取り組む、持続可能な100年企業を目指しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ大型の地盤改良工事が減少したものの、大型の杭工事が寄与したことで59億57百万円（前年同期比27.3%増）となりました。しかしながら、利益につきましては、地盤改良工事における採算の高い工事の減少と着工時期の遅れ、大型杭工事での先行費用の発生、全般的な労務費の上昇により工事利益が減益となったことに加え、販売費及び一般管理費が増加した影響もあり営業損失は28百万円（前年同期は2億72百万円の利益）、経常損失は3百万円（前年同期は2億85百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は6百万円（前年同期は2億23百万円の利益）と増収・減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（建設事業）

建設事業は、主に前年同期は大型の工場関連や物流施設の地盤改良工事を手掛けたことから減少したものの、前期に引き続き、鉄道などのインフラ関連の大型の杭工事が増加したことから、売上高は59億41百万円（前年同期比27.4%増）となりました。また、利益につきましては、地盤改良工事における採算の高い工事の減少と着工時期の遅れ、大型杭工事での先行費用の発生、全般的な労務費の上昇により工事利益が減益となったことで、セグメント利益は18百万円（前年同期比94.1%減）となりました。

（土木建築コンサルティング全般等事業）

土木建築コンサルティング全般等事業は、主に解析業務が増加したことにより、売上高は8百万円（前年同期比8.1%増）となりました。また、利益につきましては、販売費及び一般管理費が増加した影響もありセグメント損失は49百万円（前年同期は47百万円の損失）となりました。

（その他の事業）

その他の事業は、川崎市に所有している不動産の賃貸により、売上高は7百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は2百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億92百万円増加し、194億59百万円となりました。これは主に未成工事支出金等が3億9百万円減少したものの、受取手形・完成工事未収入金及び契約資産等が2億23百万円、流動資産のその他で未収消費税等などが1億55百万円、有形固定資産が1億40百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億3百万円増加し、68億80百万円となりました。これは主に契約負債が1億60百万円減少したものの、支払手形・工事未払金等が3億84百万円、流動負債のその他で未払金などが3億22百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億10百万円減少し、125億79百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億34百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、62.8%（前連結会計年度末は64.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	8,367,784	8,472,894
受取手形・完成工事未収入金及び契約資産等	※3 3,127,594	※3 3,351,589
電子記録債権	※1 1,657,896	※1 1,682,465
未成工事支出金等	1,000,210	690,844
未収入金	※2 716,331	※2 678,558
その他	417,463	573,189
貸倒引当金	△2,010	△548
流動資産合計	15,285,271	15,448,995
固定資産		
有形固定資産	2,587,641	2,728,517
無形固定資産		
のれん	11,922	10,838
その他	92,436	105,293
無形固定資産合計	104,358	116,132
投資その他の資産		
その他	1,092,792	1,169,332
貸倒引当金	△3,072	△3,072
投資その他の資産合計	1,089,719	1,166,259
固定資産合計	3,781,719	4,010,909
資産合計	19,066,990	19,459,904

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,608,237	4,992,405
1年内返済予定の長期借入金	9,940	9,940
未払法人税等	30,906	45,285
契約負債	300,777	139,854
工事損失引当金	5,600	13,700
その他の引当金	118,940	37,632
その他	668,329	991,252
流動負債合計	5,742,731	6,230,069
固定負債		
退職給付に係る負債	502,194	511,047
引当金	88,219	87,425
その他	44,240	52,033
固定負債合計	634,655	650,507
負債合計	6,377,386	6,880,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,710,900	1,710,900
資本剰余金	2,340,256	2,340,661
利益剰余金	8,685,750	8,551,000
自己株式	△540,658	△534,635
株主資本合計	12,196,248	12,067,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118,514	161,631
為替換算調整勘定	△12,002	△17,199
その他の包括利益累計額合計	106,512	144,432
新株予約権	89,636	84,715
非支配株主持分	297,207	282,252
純資産合計	12,689,604	12,579,327
負債純資産合計	19,066,990	19,459,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,678,876	5,957,875
売上原価	3,845,249	5,387,586
売上総利益	833,626	570,289
販売費及び一般管理費	561,107	598,727
営業利益又は営業損失(△)	272,519	△28,438
営業外収益		
受取利息	188	314
受取配当金	6,078	9,317
仕入割引	5,607	3,519
物品売却益	2,632	1,347
為替差益	—	9,935
その他	243	348
営業外収益合計	14,750	24,784
営業外費用		
為替差損	1,358	—
控除対象外消費税等	—	111
その他	27	0
営業外費用合計	1,386	111
経常利益又は経常損失(△)	285,883	△3,765
特別利益		
固定資産売却益	11,699	—
特別利益合計	11,699	—
特別損失		
固定資産処分損	0	185
特別損失合計	0	185
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	297,583	△3,950
法人税等	88,307	16,203
四半期純利益又は四半期純損失(△)	209,276	△20,153
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,982	△14,054
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	223,259	△6,099

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	209,276	△20,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,173	43,117
為替換算調整勘定	417	△5,196
その他の包括利益合計	43,591	37,920
四半期包括利益	252,867	17,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266,850	31,820
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,982	△14,054

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	建設事業	土木建築コン サルティング 全般等事業	その他の事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,662,245	7,655	—	4,669,901	—	4,669,901
その他の収益	1,275	—	7,700	8,975	—	8,975
外部顧客への売上高	4,663,520	7,655	7,700	4,678,876	—	4,678,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,663,520	7,655	7,700	4,678,876	—	4,678,876
セグメント利益又は損失 (△)	317,632	△47,504	2,391	272,519	—	272,519

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	土木建築コン サルティング 全般等事業	その他の事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,939,336	8,272	—	5,947,608	—	5,947,608
その他の収益	2,573	—	7,694	10,267	—	10,267
外部顧客への売上高	5,941,909	8,272	7,694	5,957,875	—	5,957,875
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,174	—	2,174	△2,174	—
計	5,941,909	10,446	7,694	5,960,049	△2,174	5,957,875
セグメント利益又は損失 (△)	18,584	△49,470	2,447	△28,438	—	△28,438

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	114,839千円	121,820千円
のれんの償却額	1,083	1,083

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1 電子記録債権譲渡高

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
電子記録債権譲渡高	1,479千円	3,036千円

※2 ファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
未収入金	597,126千円	604,923千円

※3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
受取手形	1,544千円	30,303千円

3. 補足情報

受注高・売上高・受注残高内訳表

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

①受注高・受注残高

セグメントの名称	受注高（千円）	受注残高（千円）
建設事業	11,489,290	12,615,633
土木建築コンサルティング全般等事業	—	—
その他の事業	—	—
合 計	11,489,290	12,615,633

(注) 当連結企業集団では土木建築コンサルティング全般等事業及びその他の事業は受注生産を行っておりませんので、同事業については受注高及び受注残高の記載を省略しております。

②売上高

セグメントの名称	金額（千円）
建設事業	4,663,520
土木建築コンサルティング全般等事業	7,655
その他の事業	7,700
合 計	4,678,876

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

①受注高・受注残高

セグメントの名称	受注高（千円）	受注残高（千円）
建設事業	7,569,895	13,446,457
土木建築コンサルティング全般等事業	—	—
その他の事業	—	—
合 計	7,569,895	13,446,457

(注) 当連結企業集団では土木建築コンサルティング全般等事業及びその他の事業は受注生産を行っておりませんので、同事業については受注高及び受注残高の記載を省略しております。

②売上高

セグメントの名称	金額（千円）
建設事業	5,941,909
土木建築コンサルティング全般等事業	8,272
その他の事業	7,694
合 計	5,957,875